

【委員会報告】

平成20年度就職懇談会 報告

企画委員長 宮本 要一(49回生)

平成20年の夏は例年になく、暑い日が続きました。「この日照りの最中にバーベキュー？」祈りかボヤキか、どちらが届いたのかわかりませんが当日は朝から雨にみまわれました。8月31日の午後、恒例の就職懇談会を開催しました。就職懇談会は、卒業を迎える3年生に、就職に向かう心構えと態勢をつくってもらおうと、学友会主催で例年行われています。この日は学生の特権、夏休み最後の日でもあります。気持ちを切り替える良いきっかけとなったのならいいのですが…。



講師陣は昨年度と同様、大阪大学医学部附属病院 山口和也さん(52回)、西宮市立中央病院 西田高大さん(短13)、愛仁会高槻病院 岩崎美佐希さん(短13)、神戸大学 米田有希さん(短17)、企業よりコニカミノルタヘルスケア株式会社 大西尚子さん(短12)。そして新たに京都工場保健会 竹内啓介さん(短15)に加わっていただきました。

助言者には、大阪厚生年金病院 垣藤真純学友会会長(43回)、京都工場保健会 八木雅彦技術部次長(52回)、西陣病院 堀井均技師長(55回)。加えて午前中、特別講義に来校されていた神戸大学医学部附属病院 川光秀昭技師長(54回)の緊急参加という重厚なメンバーが揃いました。

壇籠学友会長より開催趣旨の説明と挨拶をいただき、西田高大さんの司会で講演は始まりました。講演内容は、施設の特徴、業務内容、勤務体制、福利厚生、給与と多岐に渡り、さらに業務への取り組み方、取り組むための意識の持ち方と、まさに先輩として後輩を思う気持ちが溢れる充実した講演が続きました。途中休憩の後、大西さんから企業に席を置く技師として、後輩への厳しい要望を受け、最後はただ一人、学生のお父さんの年代の山口さんから、就職することの厳しさ、社会人としての心構えを懇々と諭されて閉幕しました。今回も講師陣から宿題が出ました。「今日の懇談会について、小論文に纏めろ」就職試験に向けてのトレーニング開始です。

講演の後は、西谷先生心づくしのバーベキューです。前日からの雨で火床が心配されましたが、赤澤先生、笠井先生のおかげで雨にも暑さにも負けぬ火床がたかれ、大量の焼肉の準備も整い、講師と学生の和気藹々たる懇談が始まりました。講演会場では例年以上に活発ではなかったのに、これも焼肉のせい? サーバーから注ぐビールも然ることながら西谷先生、「櫃まぶし」大変美味しいございました。

最後になりましたが、ご多忙にも関わらずご出席いただいた講師の方々、お世話いただいた大学の皆様、学友会の皆様に御礼を申し上げます。ありがとうございました。

以上